

Mランドニュース Vol.121

丹波ささ山校 平成29年4月1日発行

発行 (株)篠山自動車教習所 〒669-2436 兵庫県篠山市池上569
TEL. 079-552-0815 FAX. 079-552-3940 発行責任者 井本 徹
<http://www.sasayama-ds.com/> E-mail info@sasayama-ds.com

《今月の言葉》

「親への感謝は、人生を前向きに生きる大きなエネルギーになります」

(株)タニサケ 松岡 浩会長
モラロジー研究所発行「道経塾」107号より

あの日を忘れない

東日本大震災から六年目を迎える三月十一日、今年も被災地に心を寄せるため、ゲストの方々とともに一分間の黙禱をさせていただきます。

震災四か月後、益田校の職員とともに、石巻市へ支援活動に行った私には、おなじ国と思えない光景と異臭は、いまだに忘れることはできません。

私は約一週間の滞在でしたが、六年経った今でも現地では、不自由な生活や避難先での問題、行方不明のご家族を探し続ける人など、被災された方々にとって、震災は終わってはいません。そんな被災地から遠くはなれた私にとって、あの震災があったことを皆さんに伝えていくことが私の役目である、この日を迎えました。昼の休み時間、館内放送で次のようなメッセージを読みあげました。

平成二十三年三月十一日の東日本大震災から、今日で六年が経ちました。犠牲になられた一万五千



心を被災地に寄せて

八百九十三名の方に哀悼の意を表し、ご冥福をお祈りするとともに、今もなお避難生活を送られている十二万三千六百六十八名の方々、復興のためにご尽力されている皆さまに心よりお見舞いを申し上げたく思います。微力ではありますが、私たちの想いを被災地にとどけるために、黙禱を捧げます。地震が発生した十四時四十六分には、今の私たちとおなじように教習を受けられていた方々も多く犠牲に遭われました。

ホワイトデー

百名以上のゲストで賑やかだった館内も、水を打ったような静けさの中、私のことは聞いてくださり、全員で一分間の黙禱を捧げました。水が出る。電気が使える。食べられる。かけがえのない家族がいる。こんなあたりまえのことが、ともすればいいも簡単に奪われてしまいます。「あたりまえは全然あたりまえじゃない」、当時、石巻市中学二年生 中村日香さんのことが忘れられませんか。「今」を大切に。ライダーチーム 南勝 宏幸

三月十四日といえば、先月のバレンタインデーにもらったチョコレートのお返しの日です。今年もMランドは、そんなことは関係なく、「男の子、女の子みんなの笑顔が大好き！」ということで、来所されたゲストにチョコレートをお渡ししました。今日がホワイトデーだとしてご存じでないゲストばかりで、キョトンとされるようすに「今日はホワイトデーですよ」



「ありがとう」の気持ちを込めて

という、「私、チョコレート誰にもあげてないですけど」とにっこりされたゲストも。今回も職員からの「一言メッセージ」を添えてお渡ししました。

掃除に学ぶ

ゲストの皆さんはお友だちのメッセージカードが気になるようで、賑やかに見せ合いをされており、あちらこちらで「笑顔の花」が咲いていました。営業チーム 中野 聡

三月十二日(日)、「篠山掃除に学ぶ会」は、八上小学校トイレをお借りして、便器を磨かせていただきました。もうすぐ春といってもまだまだ朝夕の寒さは身にこたえます。この日の参加者は四名。



今月もやりきった顔で!

二か所に分かれ、男子・女子トイレから始め、「時間があれば多目的トイレも磨きましよう」と開始しました。いつも、きれいに使用されていますので、「力を入れて磨く」などのようなことはしなくてすむのですが、一時間と限られていますので、床の拭き上げまでを考えると、四人をもってしても余裕がありません。残り十五前というところで二か所が終わわり、多目的トイレは「簡単にやるか」と私が取り掛かろうとしたとき、岸田兼尚様は備品を持ち出され、いつもとおなじように掃除され、四人協力して時間内に終了。また、自分の弱腰を知らされました。自宅から一時間の道のりをごみ拾いしながら参加される刀禰亮介様。今月もトイレと人に学ばせていただきました。

走ってきました

先月号でご紹介しました卒業生三名が、三月五日（日）に開催された篠山ABCマラソンに出場され、見事完走されました。

うち、お二人からご感想をいただきましたので、ご紹介します。



応援に励む岸上様(左)と宮川様(右)

フルマラソンに初めて参加しましたが、なんとか完走できてとても嬉しかったです。篠山の自然を、走りながら満喫できました。

宮川 文宏様

初めてのフルマラソンということで挑んだ篠山ABCマラソン！想像よりはるかにきつく、特に三十五キロを越えてからは体力、気力共に尽きた状態で、途中歩いて

しまうこともありましたが、しかし、沿道の皆さんの支えのおかげで、少しずつ歩を進め無事完走でき、また目標であった四時間を切ることができました！

岸上 俊介様

途中棄権される方がおられるフルマラソン。三人ともよく頑張ってくださいました。完走したもののだけに感じる貴重な体験で、これからの自信につながることでしよう。完走、おめでとう。

営業チーム 近藤 正幸

Mランドウォッチング

ロビーといえば、くつろぐための椅子やソファが定番。Mランドのロビーには、可能な限りの長机も置いています。

ゲストの皆さんはテスト満点を目標に、朝から夜の閉館まで、教習の空き時間を利用して、黙々と勉強されています。

そのようなをご覧になった新しく入所されたゲストは、さっそく翌日より「自分もやらねば！」と机に向かわれており、これがいい習慣となって続いています。



熱心さに声もかけられません

九十九点には限界があり、一点ながら百点とでは、天と地ほどの差があると言われる。

仮免許学科試験で百点を取られたゲストは、ガッツポーズ。頑張りの証しの「満点バッジ」をお渡ししますと、満面の笑顔です。



やっぱりほしい「満点」バッジ

毎日、モータールートの音楽が流れるロビーでは、ゲスト同士、刺激し合いながら勉強されています。

切磋琢磨

三月二十四日(金)、私たちが毎朝取り組んでいるそ

うじのカプロジェクトについて、「株式会社そうじのカ」小早祥一郎先生より、各班の1か月の成果をご指導していただきました。

朝礼前の十分間の職場磨きをコツコツ続けていますので、床は見違えるように光っていきませんが、「そうじのカ」の目的は会社を「キレイにすることではなく、「社風をよくなる」ことであり、そのために「気付きの感度」や、「コミュニケーション」を高めることにあると、企業例をあげてお話しされました。

後半は、小早先生と社内の問題点をご指導していただきました。いつも同じ見方をしていると、異常が異常でなくなり、当たり前になっていました。



問題がないように見えて...

今月も私たちの見方がいかに凝り固まっているかを、思い知らされた研修でした。

今月のありがとうカード

Mランドの皆さまへ

合宿免許の2週間、ありがとうございました。皆さまのおかげで、今まで何かとやる気の持てなかつた僕が、「やるなら100点取りたい」という気持ちと、「絶対に事故に合わない運転」をするために、気持ちからしっかりしようと思い、運転を教えてもらうことができました。今日は雨ですが「視界が悪い」、「制動距離が伸びる」ことなど、学んだことを頭に入れて、卒業検定を合格しセーフティドライバーを目指していきます！

山中 透也様

Mランドの皆さまへ

2週間お世話になりました。長いようで短かった合宿。運転だけでなく掃除やあいさつなどを通じて人間的にも磨かれたと思います。インストラクターさんたちに教えてもらったことを胸に、生涯を通じてセーフティドライバーであり続けたいと思います。ありがとうございました。

宮本 菜津子様

「宮本様、山中様、私たちがの方こそ、ありがとうございます」

編集後記

四月になり、Mランドで一喜一憂した多くのゲストたちは今、就職や入学で不安や希望を胸に、新しい生活を送られていることでしょう。

私自身、この春二人の娘を社会に送り出し、手をはなれる寂しさを感じつつも、社会の役に立つ人になってもらいたいと、願わずにはいられません。

また、そんな若者に誇れる生き方を、私たちはしていかねければなりません。「日本の、ピカピカの一年生、顔晴れ！」(徹)

『掃除に学ぶ会』のご案内

私たちと一緒にトイレを掃除しましょう。

4/9 (日) 八上小学校 西トイレ (AM8:00~9:00)

4/16 (日) 篠山中学校 運動場トイレ (AM8:00~9:00)

※参加していただける方は井本までご連絡ください。